

平成26年度 杉森中学校 第7回学校運営協議会 会議録

日時 平成 27 年 1 月 15 日(木)17 時 00 分～ 19 時 15 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 高崎 彰
《学校評価委員》 大川 洋
安藤 雄太
由井 寛太郎
向笠 佐奈江
大橋 亮介 (校長)



《杉森中学校事務局》
工藤 康男(副校長)
シェティーベリング 育子(教務主幹)
加藤 雄一(進路指導主幹)
山口 優(生活指導主幹)
長谷川 祐子(嘱託事務)

《杉森中学校 PTA》
《学校評価委員》

副会長 藤森 裕美子

会長 あけましておめでとうございます。先日沖縄で何年ぶりかで開催された「全国中学校文化祭」があり、見てまいりました。首里城のパネルの前で 280 名の沖縄の生徒が三線(さんしん)の合奏をしてくれました。それが終わると舞台上にたった一人弘前の生徒が津軽三味線を演奏し、大きい音からささやくような小さい音まで弾き分けて大変素晴らしい演奏でした。色々な素晴らしい文化を見せていただきました。地域のつながりが失われつつあるので、伝統を守っていくのは大変なことであろうと思いながら、東京に戻ってまいりました。

杉森中でも地域と力をあわせて進んでいってほしいですね。



司校 会 長 では報告事項をお願いします。

会 長 生徒にも話したのですが、今年の私の目標は"心静に笑顔で過ごす"ということです。どんな困難があっても冷静に対処するように心がけてやっていきたいと思います。

昨年は生徒表彰がたくさんありました。生徒表彰、税の作文、関税会の標語で優秀賞をいただいたりしました。駅伝でも男子 8 位女子 6 位入賞と頑張ってくれました。部活動はバスケット部、卓球部などが頑張っています。

来年度からの少人数指導が数学と英語 2 教科のみになりました。

副校 長 昨年 12 月末、インフルエンザが流行しています。1 年生 1 クラス 2 年生が 2 クラス学級閉鎖になりました。1 月に入って数名休んでいます。

1 月 29 日研究発表会がありますが、ようやくリーフレットが完成しました。指導案も作成中です。

2 年生のスキー教室が 1/21～1/24 にあります。



教 務 主 幹 1 月 29 日の研究発表会に向けて、事前リハーサルを行います。2 月 6 日には 1 年生の校外学習があります。2 月 14 日には土曜日授業(公開授業)があり、新入生説明会があります。

学校内部評価の結果が出ましたのでご覧ください。この結果を元に職員会議で話し合っに行きたいと思っています。

生活指導主幹 昨年末阿佐ヶ谷区民センターの使用について、「談話室で飲食をする・注意に素直に従えない・ゲームを充電してしまう。杉森中の生徒だということです。」との報告をいただき、生徒を連れてお詫びに伺いました。部活に入っていない生徒が放課後、阿佐ヶ谷区民センターを使っていたようです。その後は苦情等でおりません。

進路指導主幹 1 月 10 日の土曜日授業の「めざせコスモポリタン」で田畑先生の授業が終了しました。いつものように軽快なお話やギターを持ってきて熱唱してくださったりと、生徒たちを引き込む授業でした。

1 月から 2 月にかけて、出願・入試・発表等があります。

会 長 田畑先生の「めざせコスモポリタン」は、子供にはどう受け止められていたのでしょうか？

進路指導主幹 子供たちにはおおむね好評だったようです。海外生活が長かった田畑先生のお話を聞いたり、写真を見ながら異文化理解を深められて、まるで海外旅行に行ったような感覚になったと思います。子供たちの知識や理解に応じた話しをしてくれました。

会 長 先生方の評価はいかがですか？

進路指導主幹 音楽教諭が学年を通して田畑先生の授業を見たそうなのですが、「1・2・3 学年それぞれに同じテーマの話しをしていたが、学年ごとに工夫して話しをしてくれていた。」ということでした。

田畑先生の授業は、現場の教員にも生かせるのではないかと思います。

会 長 色々なところで杉森中美術部生徒のハッピーを見かけましたがボランティア活動はどういったことをしているんですか？

教 務 主 幹 例年はキャンドルナイトのお手伝いをしていますが、今年は杉一こども盆踊りのポスター作成や高円寺ウルトララリーのポスターも予定しています。阿佐ヶ谷ジャズストリートにも参加しています。アートジャパンというところをお願いして ESD の一貫として海外との交流もしています。

会 長 ジャズストリートはパールセンターに絵を飾っていますよね？

教 務 主 幹 当初は小学校だけでしたが、杉森中が参加するようになり、今では阿佐ヶ谷中学も参加するようになりました。

司 会 ありがとうございます。では、学校経営方針・経営計画に校長先生からお願いします。

校 長 "基本方針"では、常々「チーム杉森中」の意識を忘れないように今一度入れました。"教育目標を達成するための基本方針"では、5 分間走の所も強調してあります。"特色ある学校づくりに向けて"では、小中学生の共同活動をもっと深めていきたい。共同して学年を超えて活動させたいと思っています。

生活指導の充実の"自己実現の達成を図る進路指導の充実"では、ICT の活用を重視。心身の健康と安全についての教育においては、体罰と暴言の禁止について。「何気ない一言でも子供にとっては大事なことである」ということ。

杉並区研究指定校は終了になりますが、これからも主体的学習の研究は継続していきます。教員としての姿勢では、生徒へのパワハラについても、絶対にないようにしたい。

学校経営計画では、今年度重点目標で「自治力」という言葉を使っていますが、これは自主自立を含みます。今回地域でご迷惑をかけたが、これを学習に結び付けたいと思っています。

特色ある教育活動については、「めざせコスモポリタン」を 27 年度も続けていきたい。学習指導では、プロジェクターの活用は、当たり前に使ってもらえるようにしたい。補習事業をやっているが、段々少なくなっている。教員を入れて充実させたい。

道徳・総合的な学習時間、特別活動については、「人と共に生きる」という事に重点をおいて、やっていきたい。社会と共に歩む社会性が大切ということです。その他にはボランティア系の参加を活発にしたい。生かしあう小中連携にしていきたいと思っています。



司 会 「自治力」という言葉が気になるのですが、とらえ方がどうでしょう。子供たちに理解しやすいでしょうか。

校 長 政治や行政を思い浮かべてしまいがちですが、自らの責任、自らの行動力ということで生徒たちには話しをしています。

司 会 保護者にしても教育関係者にしても、そのままのイメージになってしまうのではないですか?

校 長 そうですね。それは説明をしないとわかっていただけないかもしれません。

会 長 項目にキーワードが入っているので、キーワードを文頭に出しては?

司 会 パワハラについてはどうですか?

校 長 年に 2 度研修会があるので、教員は内容をわかっています。

司 会 成績に伴う言葉のハラスメントはどうなるのでしょうか。今大学では厳しく言われています。セクハラにもパワハラにも分けられないようなものもありますし…。

校 長 いまだに全都で服務報告があり、生徒に対する暴言も問題になっています。7 月と 12 月に研修をし、不適切な発言についても提示して PC で回覧もしています。

司 会 授業でパワーポイントは使いますか?

校 長 昔とはずいぶん変わってきました。杉森中でもよく使っています。

会 長 一方的に伝えることがうまく伝わらないこともありますね。

校 長 伝える事ばかりでなく、聞く耳を持たなくてははいけませんね。ではこれについて次回の学校運営協議会までにご意見をお寄せください。

会 長 支援本部についてですが、英検・漢検・数検などを一手に引き受けてくれていますね。補習授業の調整や試験前の土曜日授業など…。来年度は支援本部の仕事の調整も必要ですね。

校 長 支援本部の仕事は大熊さんがだいぶ整理してくれました。

A 委 員 もう少し学校と支援本部とで話し合って分担を決めないと、支援本部の負担が多すぎると思います。体系を作らないといけませんね。支援本部が窓口になってくださる先生と話しができるの良いですね。柔軟な対応が必要です。

会 長 どういう形で話し合えばよいでしょう。このままだと新しい体制になってしまいますね。

校 長 CS と支援本部と PTA のトライアングルが綺麗にそろわないといけませんね。スタッフがそろってから方針を決めたほうがいいのでは?

A 委 員 杉森では CS が先に立ち上がった為に、あまり支援本部との関わりがないように思います。

B 委 員 学校は教員が入れ替わるので、地域の人材リストがあれば良いですね。学校教育にどうかかわれるか、卒業生の活動がわかるといいですね。

A 委 員 12 月 20 日のシンポジウムでは、「話し合いをした中で人材が育っていく」という話しがありました。CS と支援本部と学校とが話し合って進めていくのが一番確実なのでは?地域にあった活動など、学校の声を聞かないと活動の方向が見えてきませんね。

司 校 会 長
では、学校評価委員会に移ります。
学校評価委員会には、学校運営委員会の委員以外の方一人に参加していただ
かなくはいけません。本日は PTA 副会長の藤森さんに来て頂いています。



副 校 長 お手元の資料をご覧ください。学校独自の学校評価をまとめたものです。ま
た、それをふまえた改善策・対応策を載せてあります。

英語教育では、ESS を次年度も続けていく予定です。「言葉の教育」では書
評・朝読書を取り入れていきます。「食育」では、栄養士を中心に給食メニュー
を考えて、実際の献立として反映させる取り組みにしたいです。

今回も昼の放送で、生徒が考えたメニューが放送で紹介されていました。こ
ういったことが、子供たちの達成感につながって行くと思います。

学習指導では、支援本部と連携して火・水 16 時から補習指導を行っていま
す。都の学力調査での平均正当率が高いが、区の調査では数学においては平均
正答率が低かった。国語と英語に関しては平均位。数学・理科・英語は少人数
指導をやっていますが、来年から状況が変わるので、家庭学習に力を入れるな
どの対策を考えていかなくてはなりません。補助教員での対応も考えています。

司 校 会 長
今は、習熟度別?少人数ですか?

今は部分習熟です。

副 校 長 英語は少人数習熟度別指導。数学は、人数は多くても良い習熟度別指導とな
ります。28 年度で完全実施となります。来年度の補助教員を申請中です。

来年度もカウンセラーの他に教育相談員は、来年度配置されます。

職場体験では、生徒の肯定率が 83.3%と高くなりました。

B 委 員
副 校 長 その要因は?

5 日間で子供たちに充実したものがあつたのではないのでしょうか。学年に聞き
取りをしたいと思っています。

副 校 長

道徳と総合的な学習の時間では、今年度はボランティアの実施により、表彰をたくさん受けました。次年度も継続していきたいと思います。

学校運営に関しては、「学校便り」を発行して情報を発信していきたい。小中一貫に関しても、肯定率が増加している。これからも情報を周知していきたい。小中連携では、今回は新入生の情報交換をします。

司 会

ホームページのアクセス数の活用についてはどうでしょう?ページのアクセス数をカウントできたらいいですね。

会 長

施設設備の充実が大切ですね。

司 会

では、お気づきの点がございましたら、お知らせください。次回まとめるということになります。

では、今日はこれで終了いたします。

